

催予定(地球惑星合同大会会場).  
Island arc編集委員会(担当理事・井龍, 事務局長・竹内圭史・角替敏昭)

- ・編集状況が報告された  
一般投稿数の減少は, 受理後掲載までの待ち時間が主要な原因かもしれない。また, 出版社の印刷ミスが多く, 投稿者からの評価が下がる恐れがある。早急に出版社との編集会議が予定されている。
- ・IAR編集規約・事務局規約の改正案を検討

企画出版委員会(担当理事・藤林)

- ・国立公園地質リーフレット「屋久島」は印刷校正を理事会として確認, いくつかの改善意見への対応をいただいた上で刊行を承認した。
- ・地方地質誌「近畿地方」(朝倉書店)が刊行された。
- ・地層処分関係のリーフレットの進捗状況, 今年度内の刊行は間に合わない。5月の連合大会までには出したいとの意向。編集委員会から, 出版経費を来年度に繰り越したいとの要望を承認した。
- ・リーフレットシリーズ企画出版委員会の設置案を検討した。

#### 4. 普及教育事業部会(部会長・矢島, 藤林)

- ・教員免許更新講習は, 地球惑星関連学会の中で, 昨年12月より前に一般社団法人となっていた地震学会のみが実施できることがわかった。現在, 各大学での地学関連講習講座の申請状況を把握中。資料が回覧された。

国際地学オリンピック日本委員会(久田)

- ・来年3月に次回候補者が選出された段階で, 候補者への研修会をつくばで実施する企画が紹介された。オリンピック日本委員会, 連合, 地質学会産総研・JAMSTEC等の共同事業として, 今後具体的な計画を詰める方向で検討する事とした。

#### 5. 各委員会等

JABEE委員会(委員長・天野)

- ・JABEE法人化後の分野のグルーピングや理事選出ルール等の検討のため参画分野および委員派遣分野のアンケート調査があり, これまでどおり「地球資源およびその関連分野」と回答。
- ・3月19日事務局長会議開催

ジオパーク支援委員会(委員長・天野)

- ・ジオパークパンフレットをNews誌3月号にとじこみ掲載して会員にも広報する。また, 杜誓町から2000部の要望があり, パンフレットを増刷して実費で頒布することとした。今後, 他からも多量の注文があった場合には, 同様に応ずる予定。

・日本ジオパーク委員会(高木委員)

次回の日本ジオパーク並びに世界ジオパーク申請の受付が, 4月1日~6月19

日となる。

本年度の世界ジオパーク申請候補の3カ所については, 資料修正等の対応中との報告

法務委員会(担当理事・委員長・上砂)

- ・学術研究部会の報告を受けて, 科研費などの報告書作成の際の注意について, News等に掲載する広報原稿案を作成, 理事会及び委員会で検討のうえ会員に広報するとの報告があり, 承認した。

名誉会員推薦委員会(委員長・担当理事・佃副会長)

- ・候補者の選考中, 選考基準などについてこれまでの内規等の整理を行う必要がある。

#### 6. 地質の日委員会(藤林委員)

- ・地質の日の新しいポスターができた。
- ・今年度の地質の日の学会本部行事の企画, 実施を検討し, 一般市民普及講演会を開催する事とした。講師として京都大学の鎌田浩毅会員に打診, 会場は科学博物館を候補とする事とし, 3月25日までに案出することとした。

#### ○審議事項

##### 1. 法人化と事業移行措置についての基本方針

来年度末をめざした事業の移行措置についての基本方針を固め, 4月の評議員会に報告する事とした。詳細内容の説明資料を作成し, 評議員ならびに会員に周知する事とした。

##### 2. 公益法人認定申請についての再確認(特にスケジュール等)

申請内容のうち, 公益事業についての詳細を検討し, 5月の総会に提案する事とした。これを受けて, 本格的に申請作業に移る。

##### 3. リーフレットシリーズ企画出版委員会の設置について

委員会の設置を承認し, 4月発足に向けた委員会規則の完成と委員委嘱を急ぐ事とした。

##### 4. IAR編集規約・事務局規約の改正案についての検討

次回までに修正部分について, オンラインで理事会討議を進める事とした。

##### 5. 評議員会議題について

決算案・新年度予算案, 事業計画等に加え, 事業の法人移行と公益法人認定申請に関する事などを審議事項とする。

##### 6. 総会議案について=3月号News誌で広報予定

総会の日程は, 5月17日, 午後5時45分から7時30分まで, 幕張メッセで開催する。

決算, 予算, 事業計画, 名誉会員に, 任意団体の解散方針を加えた議案を, 評議員会で確認する事とした。

## 2008年度 第3回 定例評議員会議事録

2009年3月19日

日本地質学会評議員会  
議長 保柳康一

日時: 2008年11月30日(日)

12:30-13:55

会場: 学士会館 201会議室(東京都千代田区神田錦町3-28)

出席者:(評議員18名) 荒戸裕之 卜部厚志 永広昌之 大友幸子 北里 洋 柴 正博 新妻信明 保柳康一 足立勝治 岡 孝雄 木村 学 公文富士夫 紺谷吉弘 高橋正樹 滝田良基 松原典孝 吉川敏之 渡辺真人

(理事14名) 会長 宮下純夫 副会長 高木秀雄 渡部芳夫 石渡 明 井龍康文 岩森 光 上砂正一 倉本真一 坂口有人 斎藤 眞 藤林紀枝 向山 栄 藤本光一郎 矢島道子(事務局) 橋道菊恵

欠席者 評議員(委任状14名): 磯崎行雄 伊藤谷生 小山内康人 狩野謙一 佐々木和彦 沢田順弘 芝川明義 中川光弘 堀利栄 松岡 篤 三宅康幸 山路 敦 山根 誠 脇田浩二

欠席者 評議員(委任状なし7名): 阿部国広 安藤寿男 磯野 清 川端清司 松本俊幸 丸山茂徳 村山雅史

理事(3名) 佃 栄吉 小嶋 智 久田健一郎

\*出席者成立員数(20/39)に対し, 出席18名, 委任状14名で, 評議員会は成立。

12:30 開会(保柳議長)

12:30~12:32 宮下会長挨拶

12:32~12:33 書記選出

(高橋正樹・荒戸裕之)

#### ○報告事項

1. 理事会報告(常置および外部委員会, 研究委員会含む)

(1) 運営財政部会

1) 総務委員会(部会長・上砂)

・富山県人づくり財団, 平成21年度「とやま賞」候補者として, 石崎泰男会員(富山大学)を推薦することとした。

・ゼオライト学会, 国際会議「ZMPC2009(International Symposium on Zeolites and Microporous Crystals 2009)」(2009年8月3日-8月7日, 早稲田大学)の共催を承諾。

・琉球大学熱帯生物圏研究センター共同利用研究会「有殻原生生物プランクトン研究はどこに向かうのか」(2008年11月28-29日, 松岡 篤会員より要請)の後援を承諾。

・石専門の写真家須田郡司氏より, 「世界石巡礼」(2009年4月開始)の後援依頼

があり、検討の結果、後援を承諾。

- ・大学評価・学位授与機構から専門委員の推薦依頼があり、2名の会員を推薦した。
- 2) 会員委員会 (担当理事-向山)
  - ・前回からの入会者数 16名  
正会員13名 (うち院割 8) 準会員 3名
  - ・前回からの退会者 3名  
正会員 3名 (院割 0)
  - ・逝去者 1名 (正会員) 本田 裕 (10/13)
  - ・会員数

	賛助会員	名誉会員	正会員(内院生割)	学生会員	合計
2008.10.31	33	76	4331(245)	28	4468
2008.3.31	33	76	4322(237)	25	4456
前回比	0	0	9(-8)	3	12

- ・除籍対象者 (2005年からの会費滞納者) 96名のリストが回覧され、住所不明者について、連絡先がわかる場合は会員委員会に知らせるよう要請があった。
- 3) 会計委員会 (佐々木和彦委員長・担当理事-向山)
  - ・来年度予算案
  - ・秋田大会の会計収支は、実行委員会の努力と参加者増により、黒字となった。詳細は次回評議員会で報告する予定とのこと。
- 4) その他
  - ・自然史連合 (齋木健一委員)  
加盟学会会員の学術会議会員および連携会員のリスト作成し、共有するため各学会にアンケート中。
  - ・地球惑星科学連合 (委員 久田)  
地質学会総会の日程を確保: 5月17日(日) 15~19時
  - ・連合法人化準備委員会 (高木委員)
- 5) 広報委員会 (情報特任担当理事-倉本, 委員長 坂口理事)
  - ・立候補および専門部会からの推薦からなる新期の広報委員会招集した
  - ・広報誌ジオルジュについては、来年5月総会時期にあわせて第1号を発行予定。
- インターネット運営委員会
  - ・ML機能のカスタマイズ作業および学会HPシステムの年間サポートについて検討中。
  - ・学会HPの英語画面作成について、年度内に実施予定。

## (2) 学術研究部会

- 1) 行事委員会 (委員長 齋藤理事)
  - ・秋田大会報告  
参加者総数 790人余 (内非会員64名, 学生が多い), 当初予定より約100名増。鉱物科学会は約290名で、両学会の総数約1080名であった。  
そのほか、普及講演会は130名、地質情報展は1900名を越す入場者で盛況であった。

## <質疑応答>

事前参加登録の申し込み期限がプログラム発表の翌日では早すぎ、会員にとっては非常に不親切である、との意見が出された。これに対し、齋藤理事委員長から、事前登録は近畿日本ツーリストに依頼してあった。今回の不都合については、行事委員会でも承知しており、改善を図ることになっているとのことであった。

また、事前登録は、講演申し込みと同時にを行うのが建前、ただし、講演を申し込みない登録者にとっては、プログラムの内容を見ずに決めるのは、不都合であったはずとの意見もあった。

- ・2009年岡山大会について  
実行委員長: 板谷徹丸会員 (岡山理科大), 事務局: 鈴木茂之会員 (岡山大) ほか。  
会期: 9月4日~6日 メイン会場は岡山理科大学  
市民講演会「大地から考える地球環境—地質と生物・農業の深い関係—」会場: 山陽新聞サン太ホール, 講師 波田善夫 (岡山理科大学学長) 「地質と生き物と人々の生活—ヨーロッパそして岡山の風景— (仮題)」, 武田 弘 (東京大学名誉教授) 「おいしいワインのできる畑の地球環境 (仮題)」
- 2) 国際交流委員会 (特任担当理事-石渡)
  - ・日-蒙の国際協定締結および交流について  
2009年のモンゴル地質学会記念事業も見越して、協定締結の挨拶を日本側から行う。
- (3) 編集出版部会
  - 1) 地質学雑誌編集委員会 (委員長-久田理事)
    - ・今月の編集状況 (11月28日現在).  
114-11月号: 論説 3 短報 1 報告 1 (11/21校了)  
114-12月号: 論説 3 口絵 1 (50P 校正中)
    - ・2008年度度投稿論文総数115編 [論説76 (和文70 欧文6), 総説19 (和文19) 短報 9 (和文6 欧文3), 討論 2 報告 3 ノート 5] 口絵 8 (和文5 欧文3) 投稿数昨年比 +41 査読中89編 受理済み 9編 (うち 論説 4 口絵 1 特集号 4)
    - ・地質学雑誌のインパクトファクター付帯化、相互引用化にむけて、文献欄などの英語化等を具体的に検討中。
    - ・表紙の刷新 115巻1号より (資料参照)
    - ・115巻1号掲載論文より、英語要旨のネイティブチェック開始
    - ・地方地質誌「関東地方」(朝倉書店) が刊行 (10/30) された。
  - 2) 企画出版委員会 (担当理事-藤林)
    - ・地方地質誌「関東地方」(朝倉書店) が刊行 (10/30) された。
    - ・屋久島リーフレット (12枚折) の原案が

でき、現在関係者で修正中。

- ・「地学読本」は愛智出版と修正作業中、12月中に作業を終了の予定。  
地方地質誌の今後の刊行について質問があり、藤林理事から、年明けには「近畿地方」、次が「中国地方」の予定との答えがあった。
  - 3) アイランドアーク編集委員会 (編集長-井龍理事)
    - ・編集状況
  - (4) その他理事会関係委員会等報告
    - 1) 法務委員会 (委員長-上砂理事)
      - ・新法人で整備すべき個人情報の保護に関する規定、日本地質学会利益相反規定、除名手続き規定の3規定について、規定(案)を作成し検討中である。
    - 2) ジオパーク支援委員会 (委員長-天野, 担当理事-佃)
      - ・ジオパーク広報宣伝用パンフレット作成  
12月中に作成、地方自治体その他関係者に配布、  
ジオパークの現状の報告も兼ねてNews誌、HPにも掲載予定。
      - ・来年度の事業計画予定
        - ①岡山大会での普及セミナー
          - ・GGN候補地, JGN候補地からの講演
          - ・ジオパーク候補地をめざす地域への普及サポート
        - ②地質情報展会場でのGGN候補地JGN登録地のポスター展示
        - ③ジオツアー地域の整備
          - ・巡検コースの整備に向けて支援 (地質学会による巡検コースを認定)
        - ④ジオパーク紹介の写真集の出版
- 【ジオパーク日本委員会 (委員-高木副会長)】
  - ・ユネスコに申請する、世界ジオパークネットワーク (GGN) 3件 (洞爺湖有珠山, 糸魚川, 島原半島) を決定
  - ・12月8日の第4回委員会で日本ジオパークネットワーク登録地域 (申請中2件, GGNに漏れた2件が対象) を決定。2009年2月20日に日本ジオパークネットワークの認証式を実施。
2. 評議員会関係委員会等報告
  - 1) 各賞選考委員会 (委員長-中川)
    - 中川委員長より、各賞の推薦について、多くの候補者の推薦をしていただくよう、呼びかけと要請の文書が寄せられ、保柳議長からも協力が要請された。推薦の締め切りは12月25日。
  - 2) 名誉会員推薦委員会 (担当理事-佃副会長)
    - 08年度推薦委員会の構成について、佃副会長に代わり渡部常務理事から報告があり、了承された。  
支部長: 宮坂省吾 (北海道), 大槻憲四郎 (東北), 中山俊雄 (代理: 関東), 原山 智 (中部), 宮田隆夫 (近畿), 高橋治郎 (四国), 大木公彦 (西日本)

階層別委員：岡村 眞（大学），紺谷吉弘（小中高），植村和彦（公官庁），足立勝治（会社），石渡 明（理事会），委員長：佃副会長

3) 男女共同参画委員会（委員長堀）

堀委員長に代わって，藤林理事から報告された。

・3月29日－30日（1泊2日）金沢－石川県能登半島周辺でワークショップを開催する予定。

・ワークショップで，法人化後の男女共同参画委員会のあり方や活動を詳細に検討する予定。

・男女共同参画事業の1つとして，1)のようなワークショップを開催し，若手研究者，学生の参加も呼びかけて行く予定。また，大会やワークショップなどの開催にあわせて，「Geo Kids応援プログラム」を設けることを検討中。

3. その他

1) 国際地学オリンピック日本委員会（委員長久田）

・NPO法人を申請し，現在縦覧中。来年2月中旬に設立を見込み（JSTの補助金申請の為の条件）。

2) 地質の日委員会（委員 藤林理事）

①ロゴについては第一候補が選定され，ポスターについては当選なしという案で，委員会でメール会議中。

②上記については，12月上旬にWEBで発表，応募者については当落を連絡する。

③ポスターについては，12月8日に日本

ジオパークに推薦する地域が決まるため，その地域から写真等の素材を出してもらい，事務局で作成し，事業推進委員会に諮って決定する予定。

④表彰式は来年の地質の日に東京近郊の大きなイベントの会場で行ないたい。

3) 学術会議関連（木村連携会員）

木村会員から，21期の委員会組織等について口頭で報告，説明あり。

4. 理事会審議事項報告

・法人化および関連する事項についての諸事項の検討

・野外調査における環境保全等に向けた今後の方策について

上砂理事から概要の説明があり，「具体的に許可を得るにはどのようにするのか」との質問に対し，今後は，規制地域等の情報などについて，HPやNews誌等に広報してゆく必要性が述べられた。また，国立公園内等でのサンプリングの許可取得は，調査者の責任であり，学会としては，許可を得ずに取得したサンプルを用いて執筆した原稿を，チェックなしで地質学雑誌等に掲載しないようにしたいということである。

・学会の規模と財政構造について

・来年度事業方針案，事業計画案，予算計画概要案

・来年度以降の事務局体制について  
渡部常務理事から口頭説明あり，現事務局長の退職後は，外から事務局長を登用せず，職員の中から後継者を育成するための体制作りを整える。現事務局長には

来年度から一定期間の招聘を予定。

○審議事項

1. 来年度事業方針案，来年度事業計画案，予算計画案

会長から，来年度，任意団体としての事業方針並びに事業計画案の説明があり，引き続き会計担当向山理事より，それに基づく予算案の概要が説明された。これに対し，「一般社団法人への財産（寄付等で集めた基本財産2,000万円等）の引継ぎはどうか」との質問があり，当面は，一般社団法人への活動資金として130万円が計上されているが，最終的な目標である公益法人として認められたときには，すべての財産を引き継ぐことになっている（向山）とのことであった。そのほかに質疑応答はなく，事業方針案，計画案予算案ともに承認された。

2. 総会資料における，9月評議員会以降の変更内容の説明と了承

渡部常務理事より，定款等の資料による説明があった。

一般社団法人の会長・副会長は，代議員の中から選出されるのかとの質問があり，肯定された。そのほか，とくに質疑応答はなく，修正点等については承認された。

3. その他

引き続いての臨時総会終了後，一般社団法人としての第一回役員会を開催することが，渡部常務理事から提案され，了承して閉会した。